

ワイテックスが 韓国法人子会社化

ドライブレコーダーなどを製造販売するワイテックス（桐生市堤町、安俊典社長）は、韓国にある同社の現地法人「韓国ワイテックス」を完全子会社化した。資金管理や情報共有といった連携を深め、部材の仕入れやアジア圏の市場調査を強化する。

ワイテックスは部品の約4割を韓国や中国から輸入しており、部材をスムーズに調達するため、2012年に安氏が社長を務める韓国法人を設立した。韓国法人は現在、現地採用の社員を含め3人が勤務し、資本金は1億円。韓国・富川市に事務所を構えてお

り、子会社化後も引き続き安氏が社長に就く。

韓国法人を子会社化することで、部品調達の円滑化に加え、アジア圏の商品動向を探る市場調査を強化するといふ。現地社員の追加採用も視野に入れる。ワイテックスは1998年創業で、資本金は6500万円。浴室用防水テレビや、車載後方確認支援システムなどを製造販売している。